

田園都市線の日々

先日、ものすごく久しぶりに東急田園都市線に乗った。七、八年ぶりぐらいだろうか。

うちにいる三歳児と子ども向けの人形劇を観るためにコンサートホールへ向かう途中、渋谷駅のプラットホームで思わず、

「この電車、ママが若いときによく使ったんだよ」と呟いた。

「ママが十年生のときに乗ったの？」

と三歳児が尋ねる。

十年生というのは、三歳児がこの頃しよつちゅう口にする言葉で、私にも意味はよくわからないのだが、「ワタシが大きくなって十年生になったら……」「十年生になったあと、お仕事して……」などと言うので、おそら

く、お姉さんお兄さんのような存在を指しているのだと思う。

「そうだよ」

頷きながら急行電車が地下の線路の先に消えていくのを見送った。

私が通っていた大学は、一、二年生用の校舎がたまプラーザにあつて、

三、四年生用の校舎が渋谷にあつた。

私は埼玉にある実家から二時間かけて通学していて、文庫本を広げながら電

車に長時間揺られた。渋谷からたまプ

ラーザは、東急田園都市線の各停で

三十分くらいかかる。ふつとページが

明るくなると二子玉川で、それまでは

地下を走っていた電車が地上に出ている

のだった。窓から多摩川が見えると

スーッと心が広がるような気分になつた。二子玉川は今ではおしゃれタウン

山崎ナオコローラ

になつてはいるが、私が大学生だった二十年ほど前はまだまだそんなに開発されていなくて、寂れた川沿いの街だった。

渋谷とたまプラーザの間くらいにある二子玉川にある多摩川の川岸で友人たちとよく語り合った。サークル

の人間関係がどうの、片思いがどうの、単位を落としそうでどうの、友人

の誰々に嫌われているかもしれないなくて

どうの、と今思えばくだらない悩みを打ち明けあつて、ときにはばかばかしい理由で泣いた。夕闇の川岸から、田

園都市線が窓を光らせながら橋の上を

走っていくのがプレスレットのように

見えたことを覚えている。

用賀、溝の口、鷺沼、中央林間に友人

たちがそれぞれひとり暮らしして

いて、よく泊まりに行つていた。



イラスト・岡林玲

みんなのついで

CONTENTS
Vol. 72
2020

◎日本民営鉄道協会とは？
昭和42年に社団法人として設立、平成24年4月1日付で一般社団法人に移行、73社の民営鉄道会社で組織されています。
輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。
なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

マンドリンサークルに入っていた私は、溝の口にあるノクティという施設で、マンドリンのコンサートをしたこともある。
そして、どこよりもたまプラーザには思い出が詰まっている。たまプラーザは今でこそ栄えているが、当時は畑の中に大学の校舎があった。そののかな道や、友人たちとランチや夕食を共にした安くてボリュームのある中華やあんまりおしゃやれではないイタリア

の店の数々を思い出す。
田園都市線の駅はどこも、私がよく使っていた頃に比べると格段に洗練されて、日々は遠くなった。
大学の友人たちはそれぞれ育児や仕事でいそがしく、最近はあまり会えない。
過去は消えた感じがする。
子どもと一緒に田園都市線に乗る日が来るとは思っていなかった。
隣にいる三歳の子どもも、二十年後

には片思いをしたりひとり暮らしをしたりしてばかばかしいことで泣くのだろうか。日々というのは不思議なものだ。

やまぎきなおこーら

作家。福岡県生まれ。2004年、「人のセックスを笑うな」で第41回文藝賞を受賞し、作家デビュー。著書に小説「人のセックスを笑うな」「ガツラ美容室別室」「ニキの屈辱」「昼田とハッコウ」「美しい距離」「鳥居宗愛文学賞受賞」「偽姉妹」ほか、エッセイ「かわいいう」母ではなくて、親になる」「文豪お墓まいり記」などがある。近著に小説「趣味で腹いっぱい」、エッセイ「フスの自信の持ち方」がある。



02 田園都市線の日々

●作家 山崎ナオコ
基調報告

04 貨物輸送市場をめぐる構造変化と鉄道貨物輸送の役割

●流通経済大学 流通情報学部教授 林克彦

特集／地域貨物鉄道の現状と課題

〔岩手開発鉄道・水島臨海鉄道の取り組み〕

TOP INTERVIEW. I

08 石灰石輸送を通じ、震災復興に貢献し地域の経済を支える

●岩手開発鉄道株式会社 代表取締役社長 岡田真一

REPORT. I

12 震災の被害を乗り越え地域企業として生きる

●岩手開発鉄道株式会社 取締役 伊藤林人
●岩手開発鉄道株式会社 鉄道部長 運輸課長兼務 鈴木貴之
●太平洋セメント株式会社 大船渡工場 工場長 服部誠

SPECIAL INTERVIEW

15 復興の次のステージで官民一体となった地域力向上を目指す

●大船渡市長 戸田公明

TOP INTERVIEW. II

16 貨物・旅客輸送併宮で地域活性化に取り組み

●水島臨海鉄道株式会社 代表取締役専務 西山賢治

REPORT. II

20 地域の臨海鉄道として地域一体で活性化を目指す

●水島臨海鉄道株式会社 取締役施設部長 井手敏夫
●水島臨海鉄道株式会社 営業部部長 中塚和彦
●倉敷市建設局 都市計画部 交通政策課 課長 中上唯志

●取材協力 岩手開発鉄道株式会社 総務部長 村上美保 / 総務部総務課 課長 山口祐樹
●水島臨海鉄道株式会社 総務部長 犬飼浩 / 総務部係長 猪木やよい

特別寄稿

24 行商列車と「カンカン部隊」

一産地と食卓とを結ぶ魚食文化の担い手たち
●旅の文化研究所 研究主幹・博士（文学） 山本志乃

28 山万株式会社鉄道事業部

連載 民営鉄道の起源を訪ねて―鉄路は何を目指したか
●日本宗教史研究家 渋谷申博

30 阪急電鉄 宝塚本線・箕面線

●日本宗教史研究家 渋谷申博